

I 調査結果の概要

1 食肉流通の動向

(1) 豚

ア と畜頭数及び枝肉生産量

全国の豚のと畜頭数は1,640万7千頭、枝肉生産量は129万3,835tで、前年に比べと畜頭数は1.0%減少し、枝肉生産量は前年並みとなった（表1）。

表1 豚のと畜頭数及び枝肉生産量の推移（全国）

区 分	と畜頭数	枝肉生産量
	千頭	t
令和4年	16,577	1,293,409
5	16,407	1,293,835
対前年比 (%)	99.0	100.0

イ 取引成立頭数及び卸売価格

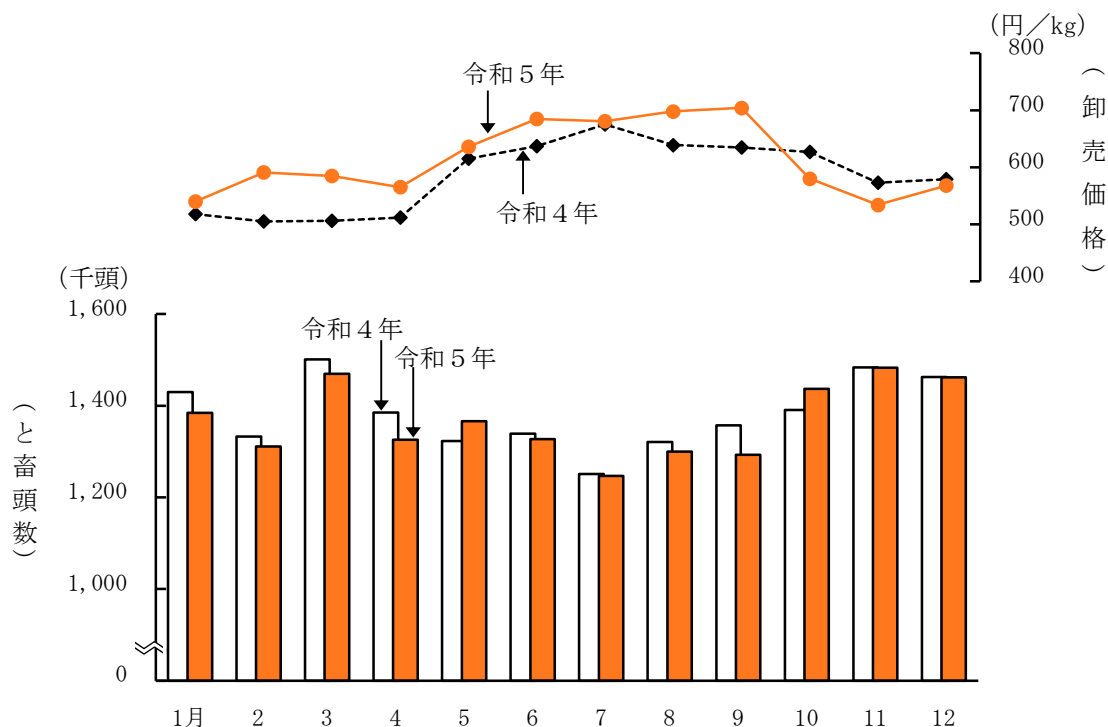
全国の豚のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は12.2%で、前年に比べ0.1ポイント低下した（表2）。

また、月別の卸売価格（極上・上規格）は、前年を上回って推移していたが、10月以降は前年を下回って推移した（図1）。

表2 豚のと畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合（全国）

年 次	と畜頭数	食肉卸売市場	割 合
		取引成立頭数	
	千頭	千頭	%
令和4年	16,577	2,042	12.3
5	16,407	2,001	12.2

図1 豚の月別と畜頭数及び卸売価格（極上・上規格）（全国）



(2) 牛

ア 成牛のと畜頭数及び枝肉生産量

全国の成牛のと畜頭数は109万8千頭、枝肉生産量は50万1,019 tで、前年に比べそれぞれ1.5%、2.1%増加した（表3）。

表3 成牛のと畜頭数及び枝肉生産量（全国）

区 分	と畜頭数	枝肉生産量
	千頭	t
令和4年	1,082	490,694
5	1,098	501,019
対前年比 (%)	101.5	102.1

イ 成牛の取引成立頭数及び卸売価格

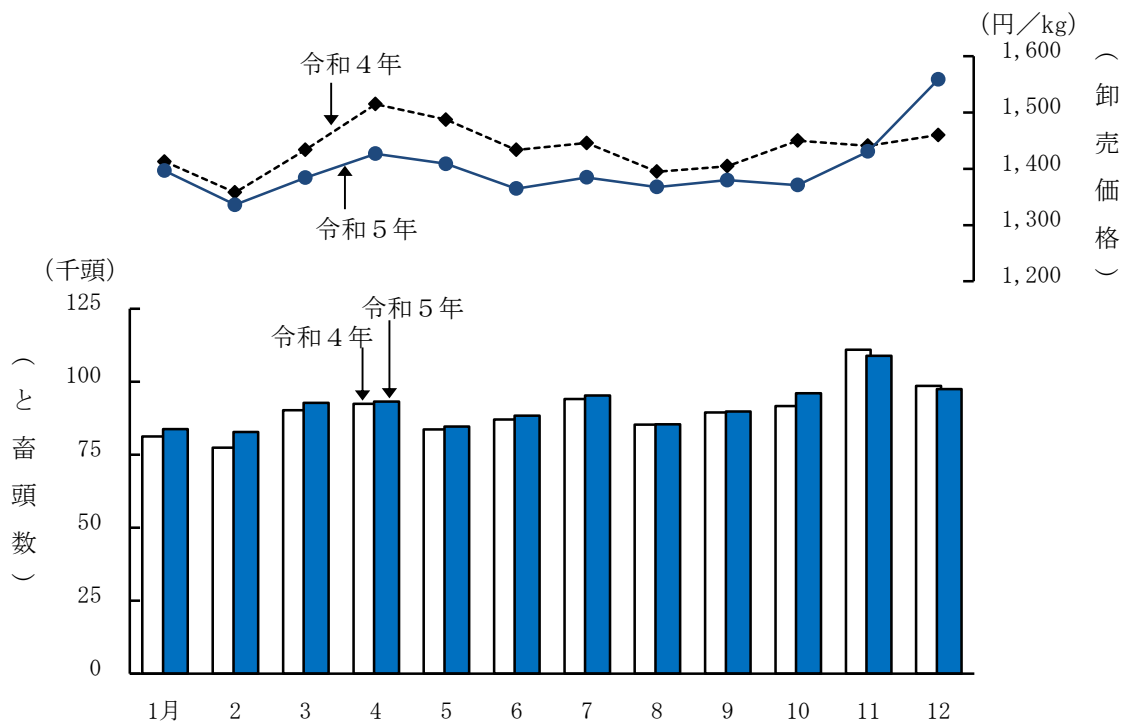
全国の成牛のと畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は32.6%で、前年に比べ0.1ポイント低下した（表4）。

また、月別の卸売価格（去勢B-3・2規格）は、前年を下回って推移していたが、12月は前年を上回った（図2）。

表4 成牛のと畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合（全国）

年 次	と畜頭数	食肉卸売市場 取引成立頭数		割 合
		千頭	千頭	
令和4年	1,082		354	32.7
5	1,098		358	32.6

図2 成牛の月別と畜頭数及び卸売価格（去勢B-3・2規格）（全国）



2 鶏卵流通の動向

鶏卵生産量は242万7千tで、前年に比べ6.2%減少した（図3、表5）。

都道府県別の構成割合をみると、鹿児島県が7.0%と最も高く、次いで千葉県が6.3%、茨城県が5.8%、岡山県が5.6%の順となっている（表5）。

図3 鶏卵生産量の推移（全国）



注：1 生産量とは、食用、加工用、種卵等として生産された鶏卵の数量をいい、収卵可能な奇形卵は含むが、収卵不可能な破卵、未熟卵は含まない（以下同じ。）。

2 令和3年以降は、採卵養鶏農家における自家消費量を含まない（以下同じ。）。

表5 鶏卵生産量（全国及び上位10都道府県）

区 分	実 数		対前年比	令和5年 構 成 比
	令和4年	5		
	千t	千t	%	%
全 国	2,586	2,427	93.8	100.0
うち 鹿児島	179	170	94.7	7.0
千葉県	125	153	122.2	6.3
茨城県	221	140	63.3	5.8
岡山県	134	136	101.4	5.6
群馬県	121	122	101.0	5.0
広島県	136	117	85.8	4.8
愛知県	120	116	96.9	4.8
栃木県	103	106	102.8	4.4
兵庫県	97	99	102.4	4.1
静岡県	95	93	97.6	3.8
その他	1,254	1,174	93.7	48.4

注：1 統計数値及び構成比は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない。

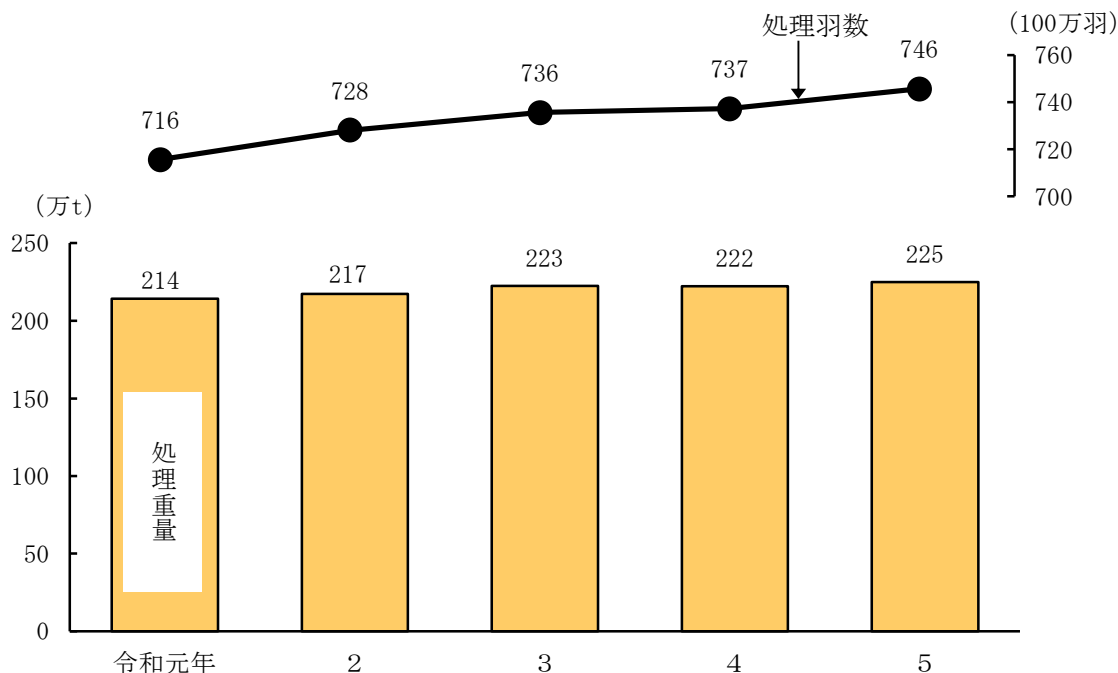
2 対前年比及び構成比は、原数より算出している。

3 食鳥流通の動向

食鳥の処理羽数は、肉用若鶏が7億4,563万6千羽、その他の肉用鶏が119万7千羽で前年に比べ共に1.1%増加したが、廃鶏が7,491万6千羽で前年に比べ10.1%減少した（図4、表6）。

また、処理重量は、肉用若鶏が224万9,259 t、その他の肉用鶏が3,450 tで前年に比べそれぞれ1.1%、1.0%増加したが、廃鶏が13万1,546 tで前年に比べ8.7%減少した（図4、表6）。

図4 肉用若鶏の処理羽数及び処理重量の推移（全国）



注：1 「処理羽数」及び「処理重量」は、食鳥処理場が食鶏を食用に供する目的で処理した生体の羽数及び重量をいう（以下同じ。）。
2 調査対象は年間の食鳥処理羽数が30万羽を超える全ての食鳥処理場である（以下同じ。）。

表6 食鳥処理量（全国）

区分	単位	食鳥の種類		
		肉用若鶏	廃鶏	その他の肉用鶏
処理羽数				
令和4年	千羽	737,217	83,304	1,184
5	〃	745,636	74,916	1,197
対前年比	%	101.1	89.9	101.1
処理重量				
令和4年	t	2,224,140	144,087	3,416
5	〃	2,249,259	131,546	3,450
対前年比	%	101.1	91.3	101.0